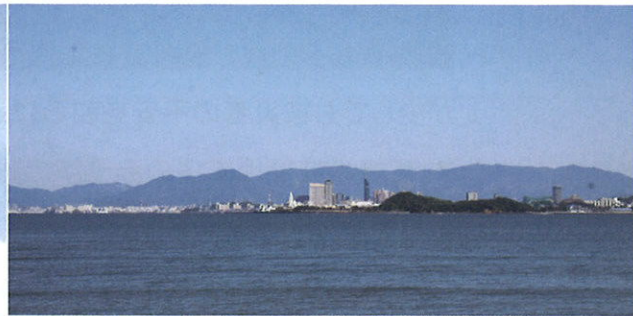


今津 日赤だより



基本理念

私たちは人道・博愛の赤十字精神のもと患者様に信頼される医療を行います。

基本方針

1. 地域医療
地域の皆様から安心して健康を任される病院を目指します。
2. 全人的医療
病気を治すだけでなく、病める人を癒す全人的医療を提供します。
3. 医療と福祉の架け橋
医療が終わった後も、その方に適した生活を送っていただくためのお手伝いをする医療福祉センターを目指します。

TOPICS

- ご挨拶 1~2
- 部署紹介 3~8
- 出来事・お知らせ 9~10

■ 院長ごあいさつ ■

令和6年も半年余りが過ぎましたが、皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしのことと存じます。当院広報誌の発刊にあたり、一言ご挨拶させていただきます。

今年は1月1日の午後4時過ぎに能登半島地震が発生し、緊急事態での幕開けとなりました。被災地の被害は甚大で、当院からも救護班、こころのケア班が被災地に出動しました。赤十字の救護活動が少しでも被災者の不安を和らげることができていたらと思います。皆様の被災地支援の赤十字の募金活動等へのご協力にも心から感謝申し上げます。被災地の復興には時間を要すると思われま。赤十字としては、今後も被災者の皆様に寄り添った支援活動を続けて参りたいと存じます。

新型コロナウイルス感染症は発生から4年半が経過し、分類上も5類となり、一見落ち着いたようにみえますが、医療現場ではまだまだ警戒が必要です。感染対策のために皆様にはいろいろとご不自由、ご迷惑をおかけして申し訳ございませんが、今後ともご協力の程、よろしくお願いいたします。

本邦ではさらなる高齢化社会が到来し、厚生労働省の掲げる地域医療構想2025も来年が節目の年となります。国が推し進めている地域包括ケアシステムでは、高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしをできるだけ長く続けられるような支援が求められています。当院としても、患者様の外来受診、訪問看護ステーション、訪問リハビリ、デイケア等のご利用、必要な場合には当院の様々な機能を有する病棟への入院などを通して、地域の高齢者の皆様ができる限り望まれる生活環境、療養環境でお過ごしできるようにサポートしていきたいと思っております。なにか療養上お困りの点がありましたら、いつでも遠慮なくご相談ください。

当院の診療の柱のひとつに認知症診療がありますが、令和6年1月1日には認知症基本法が施行されました。同法では、認知症を有している方々も、できる限り個々の意思を尊重した上で、地域で障壁なく暮らしていけるような支援を提供していくことの重要性が謳われています。当院も、もの忘れ外来、認知症デイケア、認知症病棟等で認知症診療へ貢献し、さらには地域で認知症カフェを開催して、認知症に対する皆様のご理解を深めることにもお役に立てたらと思います。認知症カフェはどなたでも参加できますので、参加ご希望の方はお問い合わせください。

当院の基本方針は、地域医療への貢献、全人的医療、医療と福祉の架け橋です。当院はこの方針に沿って、これからも地域で必要とされる医療やサービスを提供し、地域の皆様のご期待に応えられるように職員一丸となって努めて参ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



院長
藤井弘二

■ ごあいさつ ■

気持ちを新たに、新年度を迎えられていることと思います。令和6年は、能登半島地震、羽田空港での事故など異例の正月でしたが、新年度は無事に迎えられていることと思います。能登半島地震では、断水が数ヶ月も続くという事態になり、災害に対する備えも見直す必要があることを実感いたしました。特に福岡ではいつ起こるかわからない警固断層による地震もあり、当院にも災害時の計画がありますが、赤十字病院としての使命も忘れずに対応していけるよう考えております。新型コロナによる日常制限もほとんど解除されたとはいえ、未だに新たに感染される方もおられますし、新興感染症はいつどこで起こるのかはわかりません。気持ちを緩めずに、これからも地域で必要とされる医療を提供していけるように職員一丸となって頑張っていこうと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



副院長
尾前 豪

令和6年4月1日付で今津赤十字病院事務部長に就任しました原田麻里と申します。これまでに今津赤十字病院、福岡赤十字病院、日本赤十字社福岡県支部での勤務を経て、平成30年4月に当院へ戻りました。入院・外来患者数はコロナ禍前の水準に戻らず、医師・看護師等の人材確保や施設・設備の老朽化等、病院を取り巻く環境は大変厳しい状況ですが、経営改善に向けて、誠心誠意取り組みますので、皆様のご支援・ご協力をお願いします。



事務部長
原田麻里

看護部では、患者さんやサービス利用者さんに、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けて頂けるよう、外来、デイケア、訪問看護、入院療養、そして在宅と、切れ目なく生活の支援ができる看護師の育成に力を入れています。更に赤十字看護師と言えば、災害救護を思い起こされる事と思います。赤十字では、有事に備えて日頃から救護訓練を行い、ほとんどの看護師が救護員看護師として育成されています。能登半島地震においては、「救護班」と「こころのケア班」が出動しました。災害は起こらない事を願っていますが、いつの時でも地域の皆様にとって、「今津赤十字病院があつて良かった」と思ってもらえる存在になれるよう努めていきたいと思えます。



看護部長
白木潤子

内科



当院は、内科、認知症に重点を置いた精神科、の病院です。病院の方針として、地域医療に力を入れています。私たちは、病気の治療のみでなく、その後の療養も大切であると考えています。特に、高齢者の方々は複数の疾患を抱えていることが多く、疾患の治療後の生活にも徐々に問題が生じて来ることが少なくありません。このような時にも住み慣れた地域で、自分らしい生活をできるだけ長く続けられるように支援できればと考えています。必要であれば、多職種が連携して各々の状況や希望にあわせて、どのように過ごすのがよいのかを相談しながら計画し、医療、介護を提供していきたいと考えています。療養に関して悩みや疑問があれば気軽にご相談してください。

内科部長 **尾前 豪**

精神科



当科は1987年以来、認知症を中心とした高齢者の方への医療を提供しています。主に診ているのは認知症の方です。認知症になりますと認知機能の低下により日常生活に支障がでてきます。さらに不安、焦燥感、易怒性、幻覚妄想などの行動・心理症状を伴うこともあります。これらの症状に対して患者さん、ご家族と相談しながら外来・入院治療、デイケアを行っています。治療は薬物療法だけでなく、多職種と連携しながら作業療法、理学療法、認知症ケアなど様々な非薬物療法を組み合わせで行います。認知症は少しずつ進行するかもしれませんが、穏やかに本人らしく過ごせることを目指します。

精神科部長 **勝治 一夫**

地域医療連携室



地域医療連携室にはソーシャルワーカー3名と看護師1名が在籍しています。患者様やご家族が入院生活や退院後の生活に不安を感じることを無いように、入院前から退院まで、お一人お一人に合わせた支援を丁寧に行うことを心がけています。さらに、当院の特色でもある「もの忘れ相談」「生活習慣病健診」の受付も行っています。また、「認知症カフェ」や「健康講座」の開催など、地域活動に取り組んでいます。地域医療連携室は1階エレベーター前にあります。皆様の多様な悩みや不安などの相談をお受けし解決へ向けて一緒に考えていきたいと思っております。在室時は常にドアを開けていますので、どうぞ気軽にお声かけ下さい。

地域医療連携室課長 **久村 郁子**

1 病棟



を図りながら治療・ケアを行っています。

障害者施設等病棟は、神経難病の方や重度の肢体不自由や意識障害となられた方を中心に入院していただく病棟です。患者さまの多くは、自分の思いを言葉に表現できない方です。そのため、私たちは非言語的コミュニケーションの方法や、患者さまの些細な反応を見極め、意思を確認していく必要があります。おひとりおひとりのニーズに寄りそえるよう、多職種と連携

1病棟師長 山口真由美

2 病棟



で患者様に合わせた創作活動を行ったり、スタッフが企画した季節の行事を共に楽しんでいます。

2病棟は精神科です。閉鎖病棟で、認知症の治療を主にしている病棟です。精神保健指定医が常駐しており、専門的な医療を提供しています。看護師は、その方が安心・安全に治療に臨めるように個別性のある看護を提供しています。また、専従の精神保健福祉士と共に、患者様が安心して過ごせるよう療養支援を行っています。リハビリも充実しており、精神科作業療法

2病棟師長 宮崎 千賀

3 病棟



医師やリハビリ、栄養士や薬剤師、医療ソーシャルワーカーや地域のケアマネージャーなどと連携し、「治し、支える」支援を行っています。患者様ご家族の思いや尊厳を尊重し、療養生活上の困りごとなど相談しやすい、患者様・地域の方から選ばれる病棟を目指しています。

3病棟は、30床の地域包括ケア病棟です。病棟は3階の海側にあり病室からは博多湾が望めます。60日以内と限られた入院期間の中で、主に肺炎や尿路感染症の治療や再発予防のための嚥下機能評価や生活動作のリハビリテーションなど、慣れ親しんだ地域、住み慣れた在宅（自宅・居住系介護施設）へ安心して帰れるよう、入院時から在宅環境や退院後の生活を見据え、

3病棟師長 辻 寛子

5 病棟



5病棟は、医療療養病棟で病床数は30床です。急性期治療が終了し、病状が安定した後も医療的ケアが必要な患者様等に対して、継続療養を目的とした病棟です。病棟スタッフは、看護師9名、介護福祉士3名、看護助手4名の計16名です。平均年齢が高く、経験豊富で観察力や判断力、傾聴力に優れたスタッフが揃っています。また、子育て世代のスタッフも多く、互いに配慮し合いながら、新人に対しても愛情を持って丁寧に支援できるのが強みです。人生の最終段階を迎えている患者様に、残された時間をその方らしく過ごして頂けるように、患者様やご家族の思いを大切に、他職種と連携を図りながら、あたたかい看護・介護の提供を心掛けています。

5病棟師長 水口 健創

外来



当院外来では内科、精神科（認知症・もの忘れ）、そして週1回の腎臓内科、神経内科の診療を行っています。日常生活の中で“こんな症状の時どうしたらいいのかな？”と迷われたり、体調不良の際などお気軽にご相談頂けます。また各種健診も行っており、スムーズにご案内ができるように努めております。現在通院中の患者様より「いつも丁寧に説明もわかりやすい」と嬉しいお言葉が私たちの励みとなっています。当院を受診された全ての方々に、身体と心の安心をお届けすることが私たちの願いです。『来てよかったと思って頂ける外来』を目標に笑顔と優しさを忘れず、より良い看護を提供できるよう努力してまいります。

外来主任 森岡あゆみ

デイケア



当院の「認知症デイケア」は、医師、看護師、作業療法士を中心に、「治療」「看護」「リハビリ」を提供して在宅生活を支援しています。認知症の進行予防には薬物療法だけでなく、非薬物療法も同様に大切です。デイケアでは、認知症のケアとして、「パーソン・センタード・ケア」を実践し、ご利用者に合った創作活動・園芸や回想法を行っています。住み慣れた地域でその人らしく幸せに過ごせるように、ご利用者とご家族を中心に多職種と連携してサポートしていきます。「認知症デイケアのことを知りたい」「認知症の家族のことで悩んでいる」など、いつでもお気軽にご相談ください。

デイケア師長 小野 哲雄

訪 問看護ステーション・ケアプランセンター



私たちは、住み慣れた地域で暮らす皆様の在宅生活を365日24時間支援いたします。「自宅で介護したいがどうしたらいいか・・・」など在宅療養の困りごとを気軽に相談できる訪問看護ステーション・ケアプランセンターです。赤ちゃんから高齢者まですべての方の思いや希望に添えるように支援やケアを行います。かかりつけ医など在宅療養を支える人々と連携を図り、少しだけ在宅、時々病院、最後は在宅、どんな選択にも対応いたします。ケアプランセンターは、利用者と家族が安心してケアが受けられるよう信頼性の高いサービスと丁寧なサポートを提供します。

訪問看護ステーション管理者 **永田 貴代**
 ケアプランセンター管理者 **井手あゆみ**

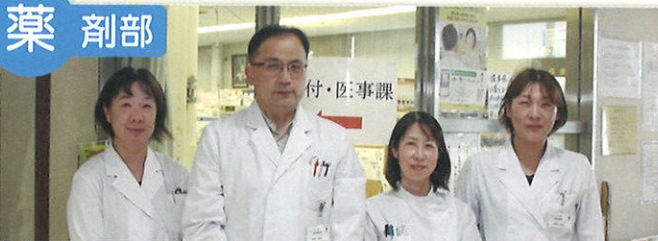
リハビリテーション技術課



リハビリテーション技術課は理学療法士7名、作業療法士10名、言語聴覚士3名が各病棟（障害者病棟、重度認知症病棟、地域包括病棟、医療療養型病棟）と、在宅部門では訪問リハビリテーション、重度認知症デイケア患者様のニーズに対応したリハビリを実施しています。また、当院は高齢者の人口が多い地域でもあり、「寄り添う医療」が必要とされます。そのためにも、患者様やご家族の思いに添い、よりゆとりのある療養環境を提供できるように、多職種との連携を行いながら最適な医療が提供できるように頑張っていきます。

リハビリテーション技術課長 **牟田 孝司**

薬 剤 部



薬剤部は個性的なこの4名（薬剤師3名事務1名）で日々患者様のお薬を調整しています。わからない事があればお気軽にご相談下さい。

	好き	嫌い	趣味	特技・資格	大事なこと
吉 田	ホークス	鳥皮	テニス	FP3級	正確性
松 尾	犬・アロマ	牛乳	筍掘り	書道	信頼
梅 枝	果物・動物	レバー	水泳	理科教諭	患者様第一
阿 部	猫	虫	ゲーム	医療事務	確認

薬剤副部長 **吉田 浩秋**

栄 養課



栄養課では、入院患者様の365日3食のお食事と、デイケアに来られる方の昼食を作っています。和食を中心に洋食や中華料理など、バラエティーに富んだ献立になるように心掛けていて、毎月行事食の日があり、旬の食材を使ったメニューやデザートなどで季節感を味わっていただけるよう工夫しています。4月の桜ご飯、5月の柏餅風手作りデザート、6月の夏越しそばなど、季節感や彩りも大切にしています。病院ですので、治療のための治療食や、嚥下機能の低下した方への食事形態に配慮したお食事なども提供しており、栄養相談も行っています。皆様に安心・安全に食べて頂けるよう、スタッフ一同衛生面に気を付け、心を込めてお食事を提供しています。

栄養課係長 内海 斉美

検 査技術課



検査技術課は臨床検査技師3名で構成されており、視力・聴力などの健診検査項目から、血液検査、生化学検査、一般検査（尿・便検査など）、血液型検査、輸血検査、生理機能検査（心電図・超音波検査など）、インフルエンザウイルスや新型コロナウイルス、ノロウイルス検査など、多岐に渡る検査項目を実施しています。特に新型コロナウイルス感染症においては、令和5年度にID-NOW（新型コロナウイルス遺伝子核酸増幅検査機器）を導入し、およそ15分で高い精度の検査が実施できるようになりました。また、診療支援業務として院内感染対策、医療安全対策、医療機器管理などの業務も行っています。

検査技術係長 福山 了平

放 射線技術課



放射線科の紹介をさせていただきます。当院では、診療放射線技師2名で、放射線業務を行っています。当院保有の検査機器は、一般撮影装置（レントゲン）、X線透視装置、X線CT装置と種類が少なく、行える検査が限られておりますが、品質の良い装置を揃え、質の高い画像が提供できるようにしています。患者・ご家族のみなさまには、今後とも地域に根差したより良い医療を目指すとともに安全、安心な医療を心掛けていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。また、検査等に関するご質問等がございましたら、お気軽に相談ください。

放射線技術課長 三谷 孝二



総務課の主な役割は、病院運営が円滑に進むようにすること、職員が気持ち良く働ける環境を整備（出来る限りですが…）していくことです。そのなかで、職員採用、研修、勤怠管理や福利厚生などの人事労務管理、各種法令に基づく手続きや届出、報告などの多種多様な業務を担っています。総務課の業務は各部署の取り纏めが多く、各部署の協力なくしては成り立ちませんし、様々な場面で部署間を横断的にサポートする役割を担うこともあり、職員間の繋がりが大切となります。日々変わりゆく世情に対応しながら、みなさん全力でサポートする体制づくりを目指します。

総務課長 小金丸啓介

会計課は、経理係1名・用度係1名・営繕係2名の3係で構成されています。経理係では会計規則に則り、病院の収入・支出に関することや決算・予算書の作成、資金の運用・管理など金銭に関わる業務を行っています。用度係では、病院内で使用する医療機器や消耗品など全ての物品の購入に携わり、購入後の在庫の管理、資産のメンテナンスなども総合しています。営繕係では、建物・設備の管理、工事の調整や破損した物品の修理など、技術員2名でコスト面も重視した施設の管理維持に取り組んでいます。会計課では費用対効果の最大化を図りつつ、患者様に快適に過ごしていただける施設づくりを目指しています。

会計課長 杉 まどか

医事課外来係は、病院を訪れる方の最初の窓口として、外来患者及び来客者の対応を行っています。当院の患者様は高齢者が多いため、患者様が安心して医療を受けられるよう、個々のお体の具合に寄り添った対応を心がけています。その他、診療費の計算・収受、診療報酬の算定・請求など、外来診療に関わる事務を一括して行っています。医事課入院係は、主に入院患者様の診療報酬の算定・請求業務を行っています。当院には障害者病棟、精神科病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟があり、3名の入院係で1～2の病棟を担当しています。診療報酬の請求は病院の収入を支える重要な柱であるため、日々研鑽しながら業務に励んでいます。

医事課長 杉 まどか

★令和5年度の出来事

いまづカフェ



今津赤十字病院が主催する気軽に立ち寄れる憩いの場です。5月・7月・9月・11月・1月・3月に今津公民館で開催しました。九大アコースティックギターサークル「unplugged」による演奏や、松ぼっくりでの小物作り、「もしバナゲーム」などで楽しいひと時を過ごしました。

どなたでも参加いただけます。お気軽にお立ち寄りください。



今津いきいき健康講座

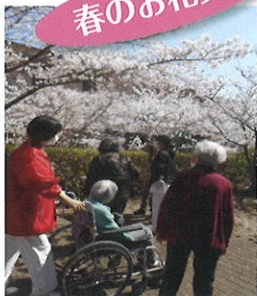


シーサイド病院と共同で開催している健康講座です。今年6月に「知っておきたい災害の心得」、11月に「正しい口腔ケアと健康」をテーマにした講義や健康体操を行いました。

血圧・骨密度・体力測定やタクティール®ケアの癒しの時間も好評でした。



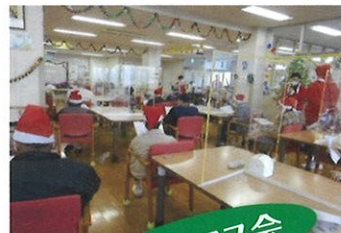
春のお花見



デイケアの行事あれこれ



夏祭り



クリスマス会

クリスマスアレンジメント



福岡舞鶴高校華道部の皆様により病院玄関を華やかに飾って頂きました。電球も取り入れて美しく飾りつけられとても素敵なクリスマスとなりました。



介護奉仕団しおさい

永年活動をして頂いている方の表彰を行いました。



「これからも長く続けていきたい」と言われていました。

地域福祉施設との連携懇話会

9月29日に当院が協力病院となっている施設との連携懇話会を開催しました。コロナ禍で4年ぶりに対面での開催でした。

これからも顔の見える連携を大切にしていきたいと思ひます。



★ 令和5年度の出来事

令和6年1月1日に発生した能登半島地震において
救護班とこころのケア班が出動しました。



★ 令和6年度の行事予定

いまづカフェ

会場: 今津公民館

次回 7月31日(水)

以後、9月・11月・1月・3月(基本的には第4水曜日)の予定

演奏会や創作活動などを企画してお待ちしています。
健康相談、もの忘れ相談も受け付けています。



今津いきいき健康講座

会場: 今津公民館

6月17日(月)は当院の藤井院長が

「糖尿病と高血圧について」講義をしました。

次回は10月頃の予定



<病院からのお知らせ>

- ・医療や福祉についてなど、出張講義のご希望はありませんか？
まずは電話でご相談ください。 相談窓口: 地域医療連携室
- ・今年度の「生活習慣病健診(協会けんぽ)」の受付をおこなっています
付加健診の対象が40・45・50・55・60・65・70歳に増えました。
- ・現在、病院ホームページのリニューアルを行っています。
情報も随時更新していますので、ぜひご覧ください!



診療案内

- * 診療科目 内科・精神科(認知症)・神経内科・胃腸科・循環器科・リハビリテーション科・放射線科
 - * 受付時間 (月曜日～金曜日)午前8時30分～午前12時00分及び午後1時30分～午後4時30分
 - * 休診日 土曜・日曜・祝日・創立記念日(5月1日)・年末年始(12月29日～1月3日)
- ※ご不明な点がございましたら、お気軽に病院までお問い合わせください。

今津赤十字病院 外来診療担当表

令和6年4月1日現在

診療科目		月	火	水	木	金	土	日
内科	初診	福岡赤十字病院	福岡赤十字病院	福岡赤十字病院	九大腎臓内科	福岡赤十字病院		
	午前 再診	尾前 豪	藤井 弘二	福大神経内科	藤井 弘二 (生活習慣病)	藤井 弘二		
				尾前 豪	大石 年訓	森 佐保		
	午後(初診及び再診)	森/古瀬	大石 年訓	当番制	九大腎臓内科	福岡赤十字病院		
精神科 (認知症外来)	午前 初診 再診	(予約制)	応相談					
			立川 夏帆	勝治 一夫	立川 夏帆	勝治 一夫	古賀 勝治	
	午後 初診 再診	(予約制)	勝治 一夫	立川 夏帆	勝治 一夫	立川 夏帆	古賀 勝治	デイケア のみ
						高島 海志	孟 祥音	
					高島 海志	孟 祥音		

病院へのアクセス



JRでのアクセス

- * JR九大学研都市駅下車の場合
JR九大学研都市駅南口前より病院無料送迎バスをご利用ください。
(下記時刻表を参照ください)
- * JR今宿駅下車の場合
昭和バス「今宿駅前」バス停より、「西の浦行き」乗車、「日赤入口」バス停下車、徒歩約10分

お車でのアクセス

西九州自動車道今宿ICより約10分

送迎バスのご案内

JR九大学研都市駅南口前より、送迎バスを運行しておりますので、お気軽にご利用ください。
※12月31日～1月3日は運休となりますのでご了承ください。



便	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便	第7便	第8便	第9便	第10便
病院→JR九大学研都市駅南口前	8:55	9:35	10:15	10:55	11:35	12:15	12:55	13:35	14:15	14:50
JR九大学研都市駅南口前→病院	9:15	9:55	10:35	11:15	11:55	12:35	13:15	13:55	14:35	15:00
運行日	平日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土日祝祭日	—	○	○	○	○	—	—	—	○

